



タイヤ産業プロジェクト・CEO会議開催について

2021年11月4日に、世界を代表するタイヤメーカーの最高経営責任者（CEO）は、タイヤ産業プロジェクト（Tire Industry Project:TIP）のCEO会議をオンラインで開催いたしました。これを受け、共同のリリースを纏めましたので、添付資料にてお知らせ致します。

参加企業（アルファベット順）

- 株式会社ブリヂストン
- コンチネンタル エージー
- グッドイヤー・タイヤ・アンド・ラバー・カンパニー
- ハンコック タイヤ シーオー エルティディ
- クムホ タイヤ カンパニー インク
- ミシュラングループ
- ピレリ アンド シー エスピーエー
- 住友ゴム工業株式会社
- TOYO TIRE株式会社
- 横浜ゴム株式会社

添付資料（ニュースリリース）4枚

本件に関するお問合せ先

一般社団法人日本自動車タイヤ協会 総務部(広報・渉外担当) 畑中・高橋・大高

電話 03-3435-9095 FAX 03-3435-9097

以上

ニュースリリース

世界を代表するタイヤメーカーのCEOが持続可能性（サステナビリティ）に関する活動成果を確認

2021年11月4日、ジュネーブ– 世界を代表するタイヤメーカーの最高経営責任者（CEO）は、タイヤ産業プロジェクト（Tire Industry Project: TIP）のCEO会議をオンラインで開催し、TIPが取り組む持続可能性に関する活動の進捗・成果について確認しました。

TIPは2005年に設立され、世界を代表するタイヤメーカーのCEOが主導するプロジェクトで、タイヤがそのライフサイクルを通じて、人間の健康や環境に与える潜在的な影響について研究しています。TIPは、持続可能な開発のための世界経済人会議（World Business Council for Sustainable Development : WBCSD）の傘下にあり、ブリヂストン、グッドイヤー、ミシュランが共同議長を務めています。

世界のタイヤ生産能力のおよそ60%を占める主要タイヤメーカーのCEOが参画するCEO会議は、2年に一度開催され、CEOはTIPが推進する活動の進捗・成果を確認するとともに、その後2年間の活動計画を承認します。また、TIPの活動計画は、Assurance Groupと呼ばれる第三者の外部科学者グループによりレビューされています。

2020年から2021年にかけてはCOVID-19がパンデミックとなる厳しい環境下での取り組みとなりましたが、今回のCEO会議で確認された主な活動の進捗・成果は以下の通りです。

1. タイヤ産業としてサステナビリティに貢献するためのセクターロードマップを発行

バリューチェーン上のステークホルダーと協働し、2021年5月に、タイヤ産業としてサステナビリティに貢献するためのセクターロードマップ「Sustainability Driven: Accelerating Impact with the Tire Sector SDG Roadmap」を発行しました。このロードマップは、国連の持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals : SDGs）に照らし合わせ、タイヤ産業としてSDGsのどの目標に最も影響があり、貢献できるかを特定し、その実現に向けた取り組みの方向性を示しています。

2. タイヤ生産における主要な環境パフォーマンス報告書を更新

TIP参加企業のタイヤ生産における主要な環境パフォーマンス指標を掲載した最新の報告書を発行しました。CEOは、セクターロードマップの内容が持続可能なモビリティ社会の実現に向けて重要であり、SDGs達成にはこの環境パフォーマンス指標の活用継続が必要であると考えています。

3. タイヤと道路の摩擦により発生するタイヤ摩耗粉塵（Tire and Road Wear Particles : TRWP）の科学的な研究の進展と効果的なコミュニケーションの継続

TIPが実施したTRWPに関する全ての調査結果や関連情報が閲覧可能な新しいウェブサイトを開発しました。また、化学物質マッピング研究の結果が報告されました。

また、今回のCEO会議では、近年のTRWPに対する科学的視点による関心の高まりを鑑み、科学的根拠に基づく理解の向上がTIPの優先事項であることから、2022年から2023年の活動計画として、主に、以下の内容が承認されました。

- ・ 10年以上に渡るTIPの研究をベースに、TRWPに関する暴露・危険性評価の継続（フィールドサンプリング調査、トレッドゴムの浸出液評価、生物蓄積への潜在的な影響の調査など）
- ・ 科学的手法を開発し、規格化を進めることによる学術界への貢献

4. ステークホルダーとのエンゲージメントを通じた、効果的な廃タイヤマネジメント（End-of-Life-Tires : ELT）

TIPはELTステークホルダーワークショップを実施し、またELTマネジメントのためのツールキットを発行しました。TIPは今後もELTに関する調査を継続し、ステークホルダーとのエンゲージメントを深めながら、グローバルレベルでのELTマネジメント向上を目指していきます。それに向け、ELT関連データやベストプラクティスなどをステークホルダー間で共有できるデジタルプラットフォームを形成することがCEOにより承認されました。

以上

お問い合わせ

Gavin Whitmore

Mobile: +41 79 880 57 29

whitmore@wbcspd.org

持続可能な開発のための世界経済人会議（WBCSD）について

WBCSDは、ネットゼロ、自然ポジティブ（Nature Positive）、そしてより公平な未来に必要なシステム変革を加速するために、持続可能なビジネスを展開する200超の世界のリーディング企業が共に活動する、CEO主導のグローバルなコミュニティです。

産業界、その他様々な領域の経営者やサステナビリティ分野のリーダー層と協同し、現実世界で起きている障害や機会について共有することを通じて、気候変動、自然破壊、不平等など互いに絡み合う持続可能性の課題に取り組むことを目指しています。具体的には、CEO向けの「ハウツー」ガイドの作成、標準やプロトコルを含むSBT (science-based target) ガイドの提供、事業のセクターや地理的制約を超

えて気候変動、自然破壊、不平等に対する解決をさらに推し進めるツールやプラットフォームの開発を行っています。

加盟企業の収益および従業員を合算するとそれぞれ8.5兆米ドル、1,900万人を超え、すべてのビジネスセクターとすべての経済圏から集まっています。およそ70の国家レベルのビジネス組織と私たちとのグローバル・ネットワークは、加盟企業に対して世界に類を見ない広がりを提供します。1995年より、WBCSDは、最も困難な持続可能性の問題に対して効果的なビジネス・ソリューションを提供するため、バリューチェーンに横断的に加盟企業が協力するという独自の立場を取っています。

私たちは、21世紀半ばまでに地球上の90億人を超すすべての人々が幸せに暮らしていける持続可能な社会の実現に向けて邁進していきます。

詳細情報（英語）：<http://www.wbcspd.org>

SNS: [Twitter](#) and [LinkedIn](#)

タイヤ産業プロジェクト（TIP）について

TIPは、タイヤがそのライフサイクルを通じて人間の健康と環境に与える潜在的な影響を研究することを目的に2005年に設立され、世界を代表する主要タイヤメーカーのCEOが主導するプロジェクトです。TIP参加企業は、廃タイヤマネジメント（ELT）、タイヤと道路の摩擦により発生するタイヤ摩耗粉塵（TRWP）、持続可能な天然ゴムなど、持続可能な未来の実現に向けた課題の解決に取り組んでいます。

TIPの参加企業は次のとおりです。（アルファベット順）

- ・株式会社ブリヂストン
- ・コンチネンタル エージー
- ・グッドイヤー・タイヤ・アンド・ラバー・カンパニー
- ・ハンコック タイヤ シーオー エルティディ
- ・クムホ タイヤ カンパニー インク
- ・ミシュラングループ
- ・ピレリ アンド シー エスピーエー
- ・住友ゴム工業株式会社
- ・TOYO TIRE株式会社
- ・横浜ゴム株式会社

詳細情報（英語）：

<http://www.wbcspd.org/tip>

<http://www.sustainabilitydriven.info>

<http://www.tireparticles.info>

SNS: [Twitter](#)

Assurance Group

- **Dr. Emeric Frejafon**, Bureau des Recherches Geologiques et Minieres (地質鉱業研究室), フランス
- **Prof. Masahiko Hirao**, 東京大学, 日本
- **Dr. Lailai Li**, 元中国世界資源研究所所属, 中国
- **Prof. How Yong Ng**, University of Singapore, シンガポール
- **Prof. John Spengler**, Harvard T.H. Chan School of Public Health, 米国